

実証イメージ：千葉市におけるスマートエネルギーシティ実現に向けた取り組み

- ① 千葉市が進める防災モデル都市実現に向けた学校等の避難所における電源バックアップ整備を支援
⇒2020～2022年度で避難所182か所へ屋根上太陽光と蓄電池を導入（TNクロスが実施）
- ② **グリーン発電事業の推進**と通信ビル等の**資産や直流技術を活用したレジリエンス強化**を推進
⇒通信ビル敷地へ太陽光発電設備と大型蓄電池を導入
⇒近傍避難所に自営線を敷設。太陽光発電からのグリーン電力供給や避難所設置の蓄電池への充電を実施
- ③ **エネルギーマネジメントシステムを構築し、ICTを活用して蓄電池や需要家設備をVPP運用**することで、拠点・地域の**平時のエネルギー利用効率向上およびグリーン電力の供給、非常時に必要となるエネルギー供給の確保**を実現
⇒（平時）省エネ支援、自営線によるグリーン電力供給、予備力・調整力提供、再エネ拡大(コネクト&マネージ)
⇒（非常時）自営線および配電網を活用した電力供給、EV等の駆けつけによる電力供給

【取り組みイメージ】

